

帝釈自治振興区 しんこうセンターたより



第 391 号
(令和 5 年 9 月 19 日)
発行：帝釈自治振興区
電話：6-0055 (FAX 兼)

E-mail : taishaku@vesta.ocn.ne.jp
HP : http://taishaku.server-hared.com/

これからの主な行事予定・施設利用等

9月18日(金)	行政文書	
9月30日(水)	かじかサロン	13時30分
10月2日(金)	行政文書	
10月11日(日)	東城地区総合スポーツ大会(東城中央運動公園)	8時30分
10月18日(水)	ふれあい東城まつり	10時～
10月19日(月)	行政文書	
10月21日(水)	いけばな教室	10時
10月25日(日)	もみじまつり環境整備	8時
10月28日(水)	かじかサロン	13時30分
10月31日(土)	もみじまつり準備	13時
11月1日(日)	第19回帝釈もみじまつり	10時
その他の教室	箏曲教室(9/25)	
	グラウンド・ゴルフ(9/19 9/24)	

第63回東城地区総合スポーツ大会の開催 10月11日(日)

東城地区総合スポーツ大会(東城中央運動公園)が開催されます。
帝釈地区スポーツ協会役員会によって選考された選手が優勝旗を
かけたたたかいに挑みます。

選手の皆さんへの応援をお願いします。

日時：10月11日(日) 8時30分 開会式

※雨天は室内競技とグラウンド・ゴルフのみ

場所：東城中央運動公園・東城中学校

協議：ソフトボール ソフトテニス ソフトバレー

グラウンド・ゴルフ 東城タワー建設 モルック



第19回 帝釈もみじまつり 11月1日(日)

今年も帝釈もみじまつりを元気いっぱい開催します。
歌ありステージあり食事あり秋の野外でのお祭りを楽し
みましょう。皆様の参加・ご協力をお願いします。

日時：11月1日(日) 開会：10時～

場所：帝釈自治振興センター駐車場

ステージ内容

10:15 新見ウインドアンサンブル

11:20 比叡荒神神楽子ども神楽塾

11:45 ジョージ浜 ハックス奏者

12:20 小桜麗子歌謡ショー

13:30 東城高校吹奏楽演奏

14:00 カラオケのど自慢

14:35 じゃんけん大会



祭りを彩る厚巻の歌声

小
桜
麗
子



NHKのど自慢グランドチャンピオン
大会の出場がきっかけでデビュー。現
在は、NHKの歌謡番組の常連、高い歌
唱力でファンへの心を掴んでいる。

東城町自治振興区連絡協議会 先進地視察研修報告

9月8日（火） 島根県雲南市を訪問し小規模多機能自治の取り組みについて事例を踏まえて研修しました。

参加者：東城町内の7自治振興区の各会長、副会長、事務局長、その他 総勢29名

訪問先：午前 木次町 三新塔交流センター

午後 躍動と安らぎの里づくり鍋山

I. 雲南市の小規模多機能自治による住民主体のまちづくりについて

雲南市面積 553.2km² 雲南市人口 33,000人

雲南市高齢化率 40.1%



地域自主組織のポイント

- ☐ 自らの地域は自ら治める！地域の個性を活かす
- ☐ “地縁”でつながる様々な人、組織、団体が連携し、相乗効果を発揮！（地域の総力）
- ☐ イベント型から課題解決型へ！
- ☐ 多様な主体の参画促進（総働での地域づくり）

雲南市の代表的な取組紹介

- ☐ 田井地区振興協議会 深野神楽こども教室
- ☐ 波多コミュニティ協議会 はたマーケット

・人口百数十人程度の中山間地域。地区内に唯一あった商店が平成26年3月に閉店したことをきっかけに、地域住民、特に高齢者から聞き取りを行った。移動販売なども検討したが、「地域に一つ、買い物のできる拠点が必要」という結論になり約8か月でマーケットを開設。現在まで15年以上続いている。面白いのは、新たな人件費をほとんど発生させずに運営していること。交流センターの事務局職員が普段の仕事をしながら、客が来れば店員として対応する。そのため、独立した店舗を構えて常時人を配置するよりも、効率よく運営できている。また、交流センターは社会教育法上の公民館ではないため、こうした収益活動も行いやすい。

- ☐ 中野の里づくり委員会 笑んがわ市

・交流センター近くのJAの空き店舗を地域自主組織が借り、産直市、サロン、交流を組み合わせた場をつくっている。毎週木曜日10時～12時まで営業。また、300円でお茶請け等を自由に食べられるなど、単なる販売所ではなく人が集まる場になっている。さらに、地元の高齢者が包丁研ぎを行い、1本200円程度でサービスを提供。小さな金額ながら、地域の中でお金を回す仕組みにもなっている。ただし、ここでも高齢化が進み、以前は電動カートで来られた人が、今ではカートに乗ることも難しくなってきた。そのため現在は、笑んがわ市そのものよりも送迎の仕組みが重要になってきている。

- ☐ 三刀屋地区まちづくり協議会 世代間交流施設「ほほ笑み」

- ☐ 躍動と安らぎの里づくり鍋山 高齢者の見守り・移動支援

- ・「まめなか君の水道検診」「まめなか」は出雲弁で「元気ですか」という意味。市から水道検針を受託し、検針の際に各家庭を訪問。その際に高齢者への声かけを行い、様子に変化があればチェックして、市の保健師などにつなげる。

行政の業務と地域の見守りを組み合わせた取り組み

- ・「走れ！！よりそい号」躍動鍋山の自家用旅客運送事業 65歳以上で車の運転ができない方を対象に、地区内を1乗車300円で運行。

運転手は躍動鍋山職員6名軽自動車2台で実施。

- ☐ 新市いきいき会 福祉カード（住民台帳）の作成
- ☐ 民谷地区振興協議会 黄色い旗運動
- ☐ 地域自主組織 日登の郷 どぶろく&田舎料理レストラン運営
- ☐ 人間コミュニティ協議会 体験型宿泊施設の交流活動

※毎年複数回の組織連絡会を実施

雲南市では雲南市地域自主組織連絡会を毎年複数回開催し各地域の取り組み事例を共有し、地域同士の学び合いにより各地域の取り組みに活かし、内容の向上を図られています。

Ⅱ. 三新塔あきば協議会に於ける空き家再生プロジェクトについて

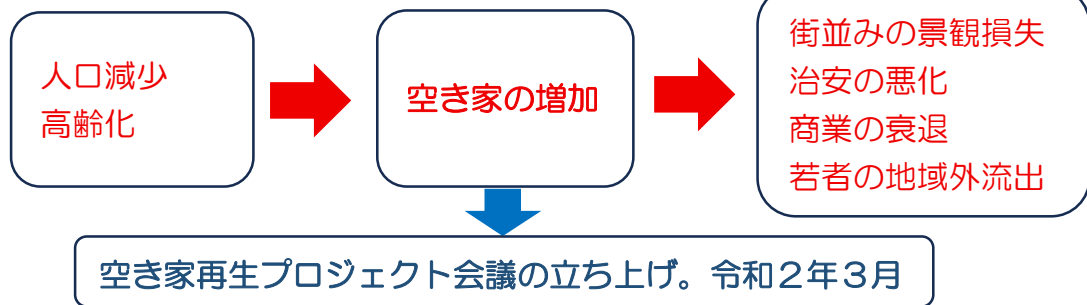
三日市地区 新町地区 塔の村地区 JR木次駅を中心に半径500mの地域

世帯数 352世帯 人口 832人

高齢化率 44.8% (令和 5年)

42.3% (平成31年)

三新塔あきば地区が抱える地域課題（空き家再生プロジェクト設置の背景と影響）



活動を通して見えてきたこと

空き家所有者が抱える問題点

- ・荷物の片付け
- ・相続に関わる姉弟間の意見の相違
- ・取り壊しの費用
- ・家じまいについて話が出来ていない
- ・所有者の住まいが遠方

購入を考えている側からの問題点

- ・価格が高すぎる
- ・取得物件のリノベーションが高額になる
- ・造りが住宅向けでない
- ・取得について気軽に相談出来る場がない

空き家を増やさないための具体的取組

- ・家じまいについて所有者の理解を深めてもらう。
- ・所有者が片付けのノウハウを学ぶ。
- ・地域住民の理解促進。新しい入居者を暖かく受け入れる。

※広島県内中山間地域に於いて今後5年から10年後には「無住化」が進みそれに伴う「空き家」も増えると考えられます。先祖から受け継いだ「家田畑」をどうするかよく考えなければなりません。

Ⅲ. 「躍動と安らぎの里づくり鍋山」の取組

「最期まで暮らせる鍋山」を目指して20年の地域づくり

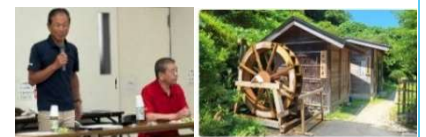
世帯数 366世帯 人口 1,129人

地域自主組織 躍動と安らぎの里づくり鍋山

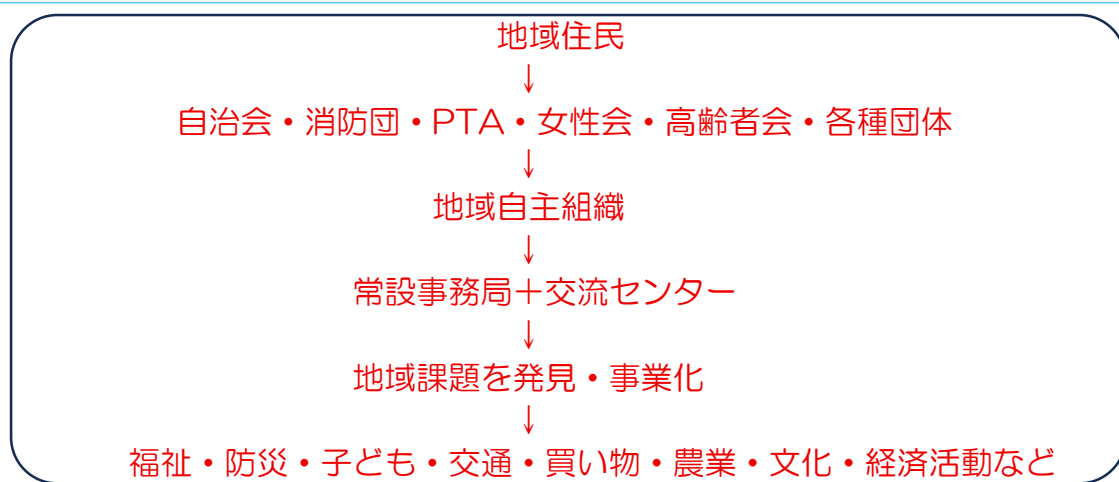
労働者協同組合うんなん 40名

躍動鍋山は、「全ての住民が生き活きと躍動し、安全で安心して生涯を輝き暮らせる地域づくり」を目標として、住民主体の地域自主組織を中心に置き、その周囲に「人・拠点・財源・行政支援・地域間連携」を組み合わせた、多種多様な団体が参加して設立された任意団体です。

設立以来、各組織が連携しながら地区内の様々な課題の解決と活動の進展に努めており。「必要とされるなんでもやろう」という思いのもと、地域のニーズに促されるまま活動を展開しております、躍動鍋山の事業は拡大しております。



水車復活イベント【深谷温泉まつり】



躍動と安らぎの里づくり鍋山の代表的な事業紹介

□ 水道検診事業

□ 安心生活応援隊事業 除雪、草刈り



- 立ち木竹伐採
- 農作業、大工
- 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業
- 旧JA鍋山支所管理運営事業
- 市民活動促進補助事業（葬祭事業、終活支援事業）
祭壇は躍動鍋山 葬儀場は交流センター
終活ガイド資格取得



- 自家用有償旅客運送事業（高齢者の移動手段支援）
 自家用軽乗用車 2台
 鍋山地域内限定 最長5km
 鍋山地域に在住する市民
 交通空白地有償運送運転者認定 7名
 運賃 1乗車 300円



- 深谷温泉施設の管理運営事業
- 農村RMO形成支援事業

※「労働者協同組合うなん事業」に於いては地域の課題発見から事業化するまでの多くのプロセス（理念に沿った事業か、収益の妥当性、事業の遂行性、等）の多くの判断に基づいて事業化の決断をされておられる様です。広くアンテナを張って課題発見と戦略的思考を絶えず行われている事が想像できます。

☆報告者：帝釈自治振興区・小林地域マネージャー

10月の移動販売車 運行予定

予定時間が前後になることがありますかご了承ください。



日にち	時間	場所
10月18日(日)	12:30	本田宅前
10月20日(火)	12:30	始終集会所
10月20日(火)	13:00	帝釈自治振興センター
10月20日(火)	13:30	竹渡集会所
10月22日(木)	13:00	未渡集会所
10月22日(木)	13:30	竹渡集会所



東城地域移動販売車運行事業

東城地域において移動販売車を運行し、高齢者等に買い物の機会及びデイホームやサロン等の近隣者との交流の場を提供することにより、「住み慣れた地域で安心して暮らし続ける」ことができる環境の充実を図ることなどを目的にはじめられた事業です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**マスク・手洗い等予防に取り組み**、是非、ご利用ください。

もし2, 3人以上の集まりがあり、新たに移動販売車の運行を希望のグループがありましたら帝釈自治振興センターにご相談ください。

なお、地域・集会所等で、サロン等の開催を取りやめたとか、他の事情で移動販売車が出向いても誰も利用できない場合は、早目に帝釈自治振興センターへ連絡してください。